



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区協会の活動紹介

(御殿場地区・沼津地区・下田地区)

「交通死亡事故現場診断」を実施！（５月中）

御殿場地区、沼津地区、下田地区安全運転管理協会は、それぞれの地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、この５月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、これからの対策等を協議しました。

【御殿場地区】

５月９日（木）、御殿場警察署、御殿場市役所、交通安全協会、地元自治会等の関係団体とともに、御殿場地区安全運転管理協会から役員や事務局、推進事業所の安全運転管理者等６人が参加して、合計２２人により

４月２４日（水）午前、御殿場市川島田地先の市道で発生した交通死亡事故（中型トラックと歩行者との衝突事故、道路横断中の９０歳女性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、中型トラックから見て下りの右カーブになっており、速度も出やすい状況で、現場診断で協議した結果、

○ 歩道橋はあるが、高齢者の利用が可能か検討が必要

○ 通行車両に対する速度抑制、横断歩行者に対する注意喚起の広報啓発

など交通死亡事故の再発防止対策に関する意見が出され、今後の交通安全活動に反映させることとしました。



【現場診断、対策協議のようす】

【沼津地区】

5月10日(金)、沼津警察署の呼掛けで、沼津市役所、国土交通省、交通安全協会沼津地区支部、自治会等の関係団体及び沼津地区安全運転管理協会から役員や事務局など合計約20人が参加し、

4月8日(月)沼津市本錦町地先の市道トンネル内で発生した交通死亡事故
(自転車歩行者用道路で自転車が壁に衝突して転倒、71歳女性が死亡)
の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、アンダーパス道路の自転車歩行者用道路で、下り傾斜の速度が出やすい状況のため、現場診断における協議の結果、

○ 自転車通行者に対する「減速」等の標識や標示の設置、安全教育の徹底

○ 自転車通行帯の区分設置、夜間照明設備の設置検討

などの事故再発防止対策に関して積極的な意見が出されました。



【アンダーパスにおける現場診断】



【事故状況の説明、再発防止対策を協議】

【下田地区】

5月24日(金)、下田警察署の呼掛けで、下田市役所、交通安全協会下田地区支部、自治会等の関係団体及び下田地区安全運転管理協会から役員、事務局など合計15人が参加して、

4月19日(金)、下田市吉佐美地先の国道交差点で発生した交通死亡事故(歩道通行中の自転車が交差点付近で転倒、自転車運転の50歳代男性が死亡)に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は、自転車から見て右カーブの下り坂で、歩道から交差点に差しかかった際に転倒しているため、事故現場診断の結果

- 交差点付近の街路灯など夜間照明位置の調整が必要
- 歩道と交差道路の段差が大きいため、道路整備を検討
- 歩行者、自転車、シニアカー利用者等への注意喚起、広報啓発を実施

など、事故防止対策について活発な意見が出されました。



【事故現場診断・再発防止対策を協議】